

「データ、資料等」

資料I. 日本のIT投資の非効率性

日本は、全世界のIT投資の17.1%を占めている。米国は33.3%で日本の倍であるが、人口比を考えると1人当たりの投資額はほぼ等しい。これに対して、3位のドイツは6.4%で、日米に比べると人口を考えても少なく、日米が世界最高のIT投資を行っていることが分る。一方、IT活用度(IT Readiness)の世界比較がWorld Economic Forumによって行なわれているが、2003年2月に発表された「2002年世界IT報告」では20位となっており、投資額に比較して効果が上がっていない。

このような非効率性の一つの要因は、日本のIT技術者の能力不足だと考えられる。特に発注のための仕様書を書いたり、基本設計を行なうことのできるアーキテクトの不足が指摘されている。

IT投資国際比較

1.アメリカ	33.6%
2.日本	17.1%
3.ドイツ	6.4%
4.英国	5.7%
5.フランス	5.0%
6.中国	2.8%
7.イタリア	2.7%
8.カナダ	2.5%
9.ブラジル	2.1%
10.オーストラリア	1.6%
参考	
12.ブラジル	1.3%
16.インド	0.8%
(2001年の 全世界のICT投資額 24,151億ドル)	

WITSA, IDC による Digital Planet

IT活用度国際比較

1.フィンランド
2.アメリカ
3.シンガポール
4.スエーデン
5.アイスランド
6.カナダ
7.イギリス
8.デンマーク
9.台湾
10.ドイツ
11.オランダ
12.イスラエル
13.スイス
14.韓国
15.オーストラリア
16.オーストリア
17.ノルウェー
18.香港
19.フランス
20.日本
21.アイルランド
22.ベルギー
23.ニュージーランド
24.エストニア
25.スペイン

「2002年世界IT報告」2003年2月 WEF